［人文・社会］［ノンフィクション］ご担当者様

7月17日出荷開始
配本なし／ご注文数のみ出荷いたします

dZERO ディーゼロ 7月新刊のご案内

ガザの破壊と虐殺は、まだ続いている。

ガザ、パレスチナ、ひとりひとりの日常

藤原亮司



ガザの破壊や虐殺は、今に始まったことではない。
何度も暮らしを破壊され家族を殺され、
立ち直ってもまた破壊され殺される。
それが何世代も続いてきた。1998年からパレスチナを取材してきたジャーナリストによる、紛争地に生まれ、暮らしてきた人々の20年以上にわたる記録。

【著者略歴】**藤原亮司（ふじわら・りょうじ）ジャーナリスト（ジャパンプレス所属）。1967年、大阪府に生まれる。シリア、イラク、ウクライナ、アフガニスタンなどの紛争地を長く取材してきた。なかでもパレスチナ問題は、1998年から長きにわたって取材を継続している。イスラエルによるガザへの大規模侵攻が始まった2023年10月以降も、ガザで暮らすパレスチナ人の友と連絡をとりながら日本国内の大学や団体などで講演を行い、現地の情報を発信しつづけている。著書に、『ガザの空の下』（dZERO）、『戦争取材と自己責任』（安田純平との共著、dZERO）がある。**

▼目次

序　章　二〇二三年秋、長年の放置と黙殺の末に
第一章　二〇〇二年冬、パレスチナ「自治区」
第二章　二〇〇五年冬、メディアに飽きられた「戦争」
第三章　二〇〇五年〜二〇〇八年、ユダヤ人たちの声
第四章　二〇〇七年夏、レバノンのパレスチナ難民
第五章　二〇〇八年夏、停戦中のガザ
第六章　二〇〇九年冬、イスラエル軍侵攻
第七章　二〇一四年夏、空爆と地上軍侵攻
第八章　二〇二二年〜二〇二六年、人々のその後
終　章　二〇二六年、テクノロジー大国と日本

▼弊社刊行物は書店様との直接取引で出荷しております。物流と決済はトランスビューが代行いたします。簡単なお手続きで今すぐ継続的な直取引（返品可）が可能です。
▼取次経由（買い切り・返品不可）をご希望の場合は、八木書店を通じてご指定の取次に出荷いたします。

直取引代行 トランスビュー

＊ご希望の出荷方法にチェックマークをお入れください

□**直取引**（返品可）
□**取次経由**（返品不可）

- 書名：ガザ、パレスチナ、ひとりひとりの日常
- 著者：藤原 亮司
- 発売・出荷開始：2026年7月17日
- 定価：本体3000円＋税
- 判型・ページ数：四六判・並製・376（カラー16）
- ISBN：978-4-907623-85-2

ご注文数	貴店名
冊	ご担当　様

ご注文→ BookCellar または FAX: 0120-999-968

お問い合わせ（dZERO）→ TEL: 043-376-7396　Email: info@dze.ro